



第298号

2013年(平成25年)11月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空溝町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

第9回

府民健康フォーラム

— 私たちの暮らしと薬・検査・栄養 —

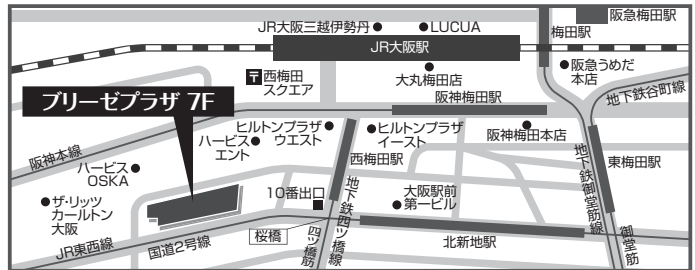
ホルモンのバランスが崩れることなどにより引き起こされる『更年期』、最近では20代、30代の女性や男性にも発症します。『更年期』は決して怖い病気ではありません。今回は、『更年期』の理解を深め、明るく過ごすために「アンチエイジングのためのヘルスアップ講座～更年期を乗り切ろう～」をテーマに講演会を開催し、府民の皆様が元気に快適な生活を送るヒントを薬剤師・臨床検査技師・栄養士それぞれの立場から情報発信いたします。

Theme アンチエイジングのためのヘルスアップ講座 ～更年期を乗り切ろう～

日時 平成25年11月17日(日)
14:00～16:40

会場 プリーゼプラザ小ホール
大阪市北区梅田2-4-9 プリーゼタワー7階
地下鉄四つ橋線「西梅田」駅下車10番出口
西へ徒歩3分

入場料 無料



13時15分より講演開始まで薬剤師会、臨床検査技師会、栄養士会による相談コーナーを設置しておりますので、お気軽にご相談ください。

プログラム

基調講演 「こころと体のアンチエイジング
～すこやかに美しく～」

講師：大阪府内科医会 理事
正木クリニック 院長 正木 初美

講演 I 「更年期の臨床データの変化について」

講師：大阪府臨床検査技師会 理事
近畿大学医学部附属病院
中央臨床検査部 増田 詩織

講演 II 「更年期のセルフメディケーション」

講師：大阪府薬剤師会理事 杉本 幸枝

講演 III 「アンチエイジングの食事と栄養」

講師：大阪府栄養士会理事若草第一病院
医療技術部栄養課課長 西村 智子

申込方法

- ▶ ハガキ、FAX、E-mail でお申込ください。
「郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望人数」を明記のうえ、下記申込先までお送りください。
- ▶ **招待状の発送はいたしませんので、お申し込みされましたら直接会場までお越しください。**
(定員を超過した場合のみご連絡いたします。)

申込先

ハガキ: 〒540-0019 大阪市中央区和泉町 1-3-8
社団法人 大阪府薬剤師会内「府民健康フォーラム」係
F A X : 06-6947-5480
E-mail: kenkoforum@osaka-fuyaku.jp

申込締切 平成25年11月15日(金)

定員 330名

申込の際の個人情報は、本フォーラムの運営管理以外には使用いたしません。なお、電話番号・住所は定員を超過した場合のご連絡のみに使用いたします。

お問合せ先 一般社団法人 大阪府薬剤師会「府民健康フォーラム」係
TEL:06-6947-5481 (平日午前9時～午後5時)

主催 一般社団法人 大阪府薬剤師会・公益社団法人 大阪府臨床検査技師会・社団法人 大阪府栄養士会

後援 大阪府、大阪市、堺市、東大阪市、高槻市、豊中市

渉外部からのお知らせ

“検査と健康展”のご案内

11月17日(日) 13:30～16:00 プリーゼタワー7階 プリーゼプラザ小ホール前エントランスにおいて、日臨技・大臨技主催で“検査と健康展”を開催いたします。臨床検査に関するポスター展示、リーフレット等の配布を行っています。また臨床検査相談コーナーを設け、臨床検査に関する悩み、相談をお受けいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

第4回 緊急検査部門講演会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

かつて死因第1位であった結核は、医学の進歩や結核対策により著しく減少しました。しかし、今なお新しい患者が年間2万5千人以上発生し、日本は罹患率、死亡率ともに先進国の中でも高い状況にあります。特に大阪府は全国ワースト1位が20年以上続いているだけでなく、その発生率は全国平均の2倍にも達しています。

さあ、今一度、この機会に結核についていっしょに学びませんか。多数のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

THE 結核

～感染対応、診断、治療をわかりやすく～

講演1 あれ…もしかして結核？ 検査・画像診断をわかりやすく解説
講師：大阪市立大学医学部附属病院 救命救急センター 羽川 直宏

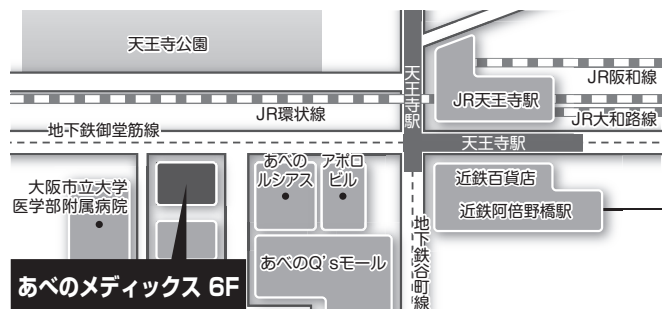
講演2 大阪府における結核感染の現状
講師：大阪府健康医療部 保健医療室 地域保健感染症課長 谷掛 千里

日時
平成25年11月30日(土) 14:30～16:30

会場
あべのメディックス 6階ホール

参加費
無料

連絡先
大阪府立中河内救命救急センター 津田 喜裕
E-mail nmcam-lb2@nmcam.jp
TEL 06-6785-6166 (内線7009)



渉外部からのお知らせ

平成25年度 HIV予防啓発講演会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

日本ではHIV感染者・エイズ患者が増加しています。大阪府の現状は、全国で2番目に多くなっています。そのため、技師会でも青少年に向けて予防啓発運動を行っています。

今回、臨床検査技師や他の医療職種をめざす学生を対象に、HIV感染症の現状や予防について、さらに最新の治療や検査法についての講演会を開催いたします。会員の方のご参加もお待ちしております。

日時
平成25年11月30日(土) 15:00～17:00

会場
日本医療学院専門学校 大教室
東大阪市下小阪4-12-3

参加費
無料

連絡先
市立豊中市民病院 臨床検査部 清水 隆之
E-mail akane@mub.biglobe.ne.jp



内容

- HIV感染症の現状や予防
講師：大阪府健康医療部 保健医療室地域保健感染症課 感染症グループ 田中 佐代子(保健師)
- HIV感染症の検査と治療
講師：大阪府立公衆衛生研究所 ウィルス課 森 治代(主任研究員)

学術部 輸血検査部門からのお知らせ

輸血検査症例検討会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
←評価点→
日臨技生涯教育点数

Theme 『消去法集中ノック！同定できなきゃ帰れま10(テン)おみや付 — 基本を克服して複合にチャレンジ —』

「抗体スクリーニング陽性になってしまったけど何かわからん(泣)」「パネル血球との反応が陽性陰性入り乱れて訳わからん(涙)」でお困りの方、かねてから要望の多かった抗体同定の消去法について、今回は徹底解説します。

消去法を含む抗体同定の基本的な考え方を解説した後、比較的簡単なホップパネル、ちょっと込み入ったステップパネル、そしてジャンプならぬスキップパネルの3題にチャレンジしていただきます。そしてお帰りにはジャンプパネルのおみやをお持ち帰りください。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成25年11月2日(土) 14:30~17:30

会場 大阪府赤十字血液センター 7階研修室

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 大阪府済生会中津病院 検査技術科 深田 恵利奈
E-mail yuketu-osaka@mail.goo.ne.jp

学術部 臨床化学検査部門からのお知らせ

他職種
公開講座

臨床化学検査部門 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
←評価点→
日臨技生涯教育点数

Theme 「実は亜鉛って大切なんです。」~知られざる亜鉛の有用性と検査について~

講師 株式会社シノテスト 古市 豊

今回は亜鉛についての勉強会を企画させていただきました。亜鉛は生体内に広く分布する必須微量金属のひとつで、多くの金属酵素の重要な構成成分として存在します。

テーマにもあるように亜鉛は重要なのですが、意外と測定までは実施していないと思います。うまくモニタリングして適切に対応をすれば、褥瘡発生や外傷の治癒に関連する検査項目ですので、入院された方や看護する方にも有益な検査になるのではないのでしょうか。

汎用機を用いての検査室での測定についても考えてみたいと思います。

日時 平成25年11月14日(木) 18:30~20:00

会場 大阪市立大学医学部 6階中講義室2

参加費 会員500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 石田 繁則
E-mail shigei@med.osaka-cu.ac.jp

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

他職種
公開講座

微生物検査部門 定期講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
←評価点→
日臨技生涯教育点数

Theme 「見て触れて感じて学ぶ微生物検査」 講師 JA愛知厚生連江南厚生病院 臨床検査技術科 舟橋 恵二

微生物検査に携わっていて、こんな疑問や不安を感じることはありませんか？この菌なんだろう？このやり方であってるの？よそはどのように取り組んでるのだろうか？日々のルーチンワークでは、疑問や不安は常にありますよね。

そこで今回は、見て触れて感じて学ぶをテーマに JA 愛知厚生連江南厚生病院臨床検査技術科 舟橋 恵二先生にご講演いただきます。

舟橋先生は、愛知県臨床検査技師会 微生物研究班の班長に従事され、微生物検査の幅広い知識、技術の向上、標準化を目的に他施設との交流、また個々では難しい技術・情報の提供など、多岐にわたり精力的に活動されています。

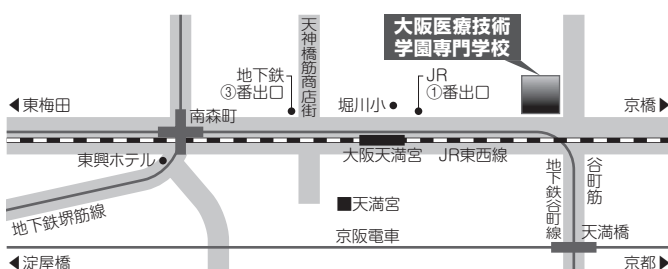
本公演では、その活動内容を中心に愛知県での取り組みなどをご紹介します。この機会にぜひ、見て触れて感じながら学んでみてはいかがでしょうか。多数の方々の、ご参加をお待ちしております。

日時 平成25年11月28日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校

参加費 会員500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)

連絡先 大阪赤十字病院 検査部 市村 佳彦
Email triplets-kazu-nao-aki@nifty.com



多職種
公開講座

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

糖尿病療養指導の勉強をしても院内の糖尿病カンファレンスや研究会では発言するのを躊躇してしまう、という方は多いのではないのでしょうか？そんな方がもっと自信を持てるようになるための対策を考えたいと思います。

糖尿病の治療には、患者さんの生活背景や自己管理の意識が大きく影響します。検査値からのアプローチだけでなく患者さんを総合的に見据えて療養指導を行なう方が、きっと患者さんの心に響くはずで。患者さんの全体像が見えてくるとカンファレンスや症例検討会で発言する勇気が出てくるかもしれません。では、どのようにして患者さんを総合的にみるのか？その方法を具体的にご紹介します。

「日本糖尿病療養指導士受験ガイドブック」や「糖尿病治療ガイド」をお持ちの方は当日ご持参ください。

Theme 「ゼロから学ぶ症例の見方～糖尿病チームの一員となるために～」 講師 ふくだ内科クリニック 横山 有子

日時

平成25年11月13日(水) 18:30～20:00

会場

住友病院 14階講堂

参加費

500円(一律)

連絡先

ふくだ内科クリニック 横山 有子

E-mail ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

糖尿病療養指導士認定のための更新単位
(臨床検査技師のみ第1群):0.5単位
(CDEJの方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の
必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。
2群の単位は取得できません。)



多職種
公開講座

第12回 内視鏡検査部会勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

公益社団法人となり、第一回目の内視鏡検査部会をこの度下記要領にて開催させていただきます。第1部には、目にすることはあってもなかなか知らない略語・英語の記載を、今回より、3回(予定)シリーズにして勉強します。動画や画像も供覧します。(今回は、AからHまで) 毎回、「内視鏡検査部会特製 略語・英語記載集」がテキストとして付いてきます。第2部では「上部消化管内視鏡診断」の講演をお願いしています。消化器内視鏡医師は、どのようにして内視鏡診断をしているのか・・・基礎から学びます。

諸事でご多忙の折とは存じますが、よろしくご参加のほどお願い申し上げます。

日時

平成25年11月29日(金) 18:30～20:30

会場

大阪産業創造館 6階会議室A

参加費

500円(一律)

連絡先

大阪労災病院 内視鏡センター

E-mail et-iden@orh.go.jp

TEL 072(252)3561 PHS 4258

出野(イデノ)、榎本(エノモト)

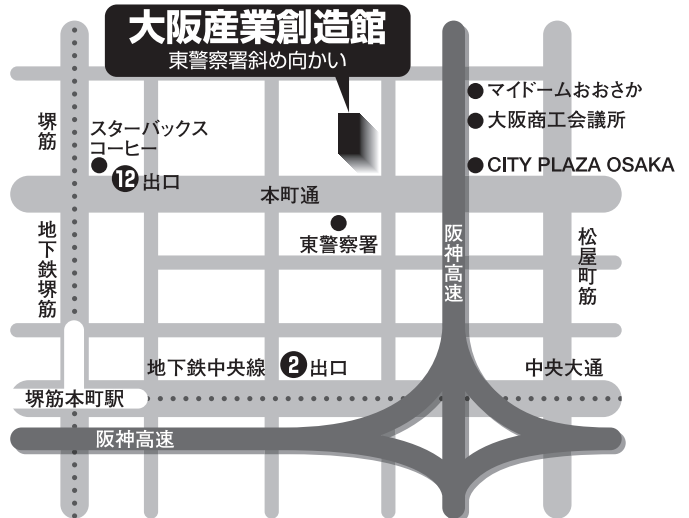
プログラム

第1部 「内視鏡で使われる、略語・英語記載を学ぼう」

第2部 【講演】

「上部消化管内視鏡診断」

講師：大阪労災病院 消化器内科 山本 俊祐



大阪市中央区本町1-4-5(堺筋本町12出口より徒歩5分)

免疫血清検査部門 研修会



- ☆「抗原抗体反応の基礎」を今一度整理してみませんか？
- ☆日常業務の中で、「非特異反応」や「異常反応」に悩まされることはないですか？
- ☆輸血検査のターゲットの一つである赤血球。その膜上にはどのような仕掛けがあるの？
- ☆生化学・尿一般・血液検査を理解するためにも「免疫学」の知識は必要だと思いませんか？

そんな皆さんに、とっておきの研修会を企画しました。「臨床検査」の理解を深めるために、「免疫学」を再度お勉強してみませんか？

研修会後半では、教育講演として基礎医学の最新の話題を、また特別講演として最終的に膠原病内科の先生方は私たちの出した検査結果をどのように利用しているのかを分かりやすくかつ大胆にご解説いただく予定です。

年の瀬が押し迫り、町は慌しさを増していますが、「免疫学」の神秘の世界へしばし身を委ねてみませんか？お申込みをお待ちしております。

日時

平成25年12月7日(土) 9:30~17:30

会場

大阪医科大学 新講義実習棟P101講堂(PA会館 1階)

参加費

2,000円

定員

100名(先着順)

連絡先

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁

E-mail k.ueda@ashiya-hosp.com



申込み

▶事前申込み制

本連絡先(k.ueda@ashiya-hosp.com)まで、件名を「免疫研修会」とし、本文に「ご所属・ご氏名」を明記のうえ、メール送信してください。

「免疫学の逆襲～臨床検査の理解を深めるために」

【基礎講演1】

9:30 ~10:30

序章～異常反応を解き明かすキーとなる免疫学

講師：大阪医科大学附属病院 繁 正志

10:30~11:10

免疫学視点で眺める腎臓の未知なる世界

講師：アークレイ株式会社 木全 明子

11:20~12:20

免疫学で覗き見る赤血球膜抗原の神秘

講師：兵庫県赤十字血液センター 坊池 義浩

【ランチョンセミナー(お弁当付き)】

12:30~13:15

感染症検査の変遷と未来

講師：富士レジオ株式会社 江川 孝則

【基礎講演2】

13:30~14:10

免疫検査を担う為に知っておきたい血液検査学

講師：ベックマンコールター株式会社 横井 浩

14:10~15:10

免疫検査を行うための臨床化学検査の基礎理論

講師：松下記念病院 中島 康仁

【教育講演】

15:20~16:20

エピジェネティクスとは ～その基礎と免疫疾患との関わり～

講師：大阪大谷大学薬学部 竹橋 正則

【特別講演】

16:30~17:30

免疫学で解き明かす～膠原病内科の戦略

講師：大阪医科大学附属病院膠原病内科 武内 徹

他職種
公開講座

病理組織講習会

先月に引き続き、第2回目を行います。

テーマは「HE 標本を主体とした病理学の習得～組織標本の見方、考え方～」の講習会で、大腸病変を対象に行います。講師に株式会社ピーシーエルジャパン、PCL 大阪小野寺正征先生をお招きして、HE 標本以外にも肉眼所見や切り出し、特殊染色の見方、診断のプロセスなども解説してもらう予定です。みなさまぜひご参加ください。

日時・講義内容

第2回 11月15日(金) 19:00～20:30
「大腸癌取扱い規約に準じた、大腸病変の組織像と取扱いについて」

大腸癌取扱い規約に準じた、組織の切り出し方や組織像について、症例を用いて解説します。

第3回 12月6日(金) 19:00～20:30
「癌取扱い規約に準じた、消化器臓器病変の組織像と取扱いについて」

取扱い規約に準じた、胃、大腸以外の消化器臓器(食道、小腸、十二指腸、脾臓、肝臓等)の組織の切り出し方や組織像について、症例を用いて解説します。

講師 PCL大阪 小野寺 正征

会場 関西医科大学附属滝井病院 南館2階 臨床講堂

参加費 各回500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です。)
*近畿支部の地臨技会員証を必ず提示してください。
日臨技の会員証のみでは非会員扱いとなります。

共催 三菱化学メディエンス株式会社

連絡先 星ヶ丘厚生年金病院 検査部 三原 勝利

Email kattu310a@gaia.eonet.ne.jp



主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

平成25年度 日臨技近畿支部血液検査研修会のご案内

実務担当技師会：一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会

今回は初級者向けの研修会を企画しました。

1日目は診断と治療にあたっておられる2名の医師と経験豊富な技師の先生方の講義、2日目は鏡検実習を企画しております。

実習では現在活躍されている技師の先生方から骨髓像を観察する上での注意点やポイントを実際の標本を観察しながら学ぶことができます。多数の会員様のご参加をお待ちしております。

開催日 平成26年2月15日 14:00～
16日 14:30～

会場 和歌山県立医大 生涯教育センター・基礎教育棟

定員 Aコース 80名
Bコース 60名

受講料 Aコース(1日目のみ参加)
4,000円(非会員 5,000円)
Bコース(両日参加)
8,000円(非会員 10,000円)

申込み方法

下記宛にEmailにて、施設名、氏名を記載し、Emailの件名を「H25血液研修会参加申し込み」とし送信してください。

Email chisayo.kusunoki@gmail.com

申込み期間

平成25年11月15日～12月31日

問合せ先

〒640-8505 和歌山市木ノ本93-1
和歌山労災病院 中央検査部
楠 智佐代
TEL 073-451-3181

Theme 造血器疾患の診断と治療 ～初心者のために～

一日目 講義 和歌山県立医大 生涯教育センター 研修室

14:00～14:10 オリエンテーション

14:10～15:00 成人の造血器腫瘍
和歌山県立医大 講師 花岡 伸佳

15:00～15:50 小児の造血器腫瘍
和歌山県立医大 講師 神波 信次

16:00～16:50 標本観察のポイント
京都大学医学部附属病院 検査部
臨床検査技師長 志賀 修一

二日目 9:00～12:00 鏡検実習

和歌山県立医大 基礎教育棟 実習室

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 総説

和歌山県立医大 生涯研修センター 研修室

講師 中西 加代子 (京都大学医学部附属病院)
下村 大樹 (天理よろづ相談所病院)
梅村 茂人 (滋賀県立成人病センター)
三村 喜彦 (兵庫県立塚口病院)
稲田 孝 (星ヶ丘厚生年金病院)
西村 佳子 (福井赤十字病院)
志賀 修一 (京都大学医学部附属病院)

14:30 閉会

第11回 大阪臨床検査ISO15189研究会のご案内

平成25年9月時点で国内でのISO15189認定施設は70施設以上となり、現在も公的病院を中心に認定施設が増加しています。今回の研究会では、第一部でISO15189についてメーカー側からの提案、そして最近認定を取得されましたご施設に取得経験談もご講演いただきます。第二部は、標準規格最新動向として、ISO15189の最新動向と医療情報システムに係わる厚生労働省標準規格についてのご講演予定しております。

ISO15189の認定取得を検討中の施設の方はもちろん、ISO15189に関心のある方はぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

また、今回も意見交換会を設けていますので、ふるって参加くださいますようお願いいたします。

なお、講演内容・講師については現在調整中のため変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



日時 平成25年12月7日(土) 14:00~19:00 (13:30開場)
 会場 大阪医科大学 新講義実習棟3階 301号室
 参加費 500円(事前登録の必要はありません)
 定員 100名(先着順)
 連絡先 世話人代表 大阪医科大学 購買・物流部 井口 健
 Email kenmie@ruby.famille.ne.jp



医療情報技師更新ポイント 1点(予定)

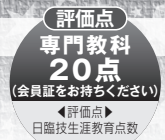
プログラム

- 第一部 ISO15189へのメーカーからの提案と最新取得経験談**
- 「QMS構築支援の実際」
講師：ロシュダイアグノステック株式会社(調整中)
 - 「ISO15189取得経験談 FLS in Osakaを活用した認定取得への取り組み」
講師：関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部 鈴木 玲子
- 第二部 標準規格最新動向**
- 「ISO15189最新動向(仮題)」
講師：公益財団法人 日本適合性認定協会 下田 勝二
 - 「医療情報システムにおける厚生労働省標準規格(仮題)」
講師：厚生労働省政策統括官付情報政策担当参事官室室長補佐
北海道大学大学院保健科学研究院客員准教授 中安 一幸
- 第三部 意見交換会 17:00~19:00**
大阪医科大学地下食堂

学術部 血液検査部門からのお知らせ

他職種
公開講座

血液特別講演会



講演 「自動血球計数CRP測定装置のご紹介」
講師 株式会社 堀場製作所 医用営業統括室 齊藤 憲祐

特別講演 MDS ーその病態と異形成の見方・とらえ方ー

講師 滋賀県立成人病センター 臨床検査部 梅村 茂人

日時 平成25年12月14日(土) 14:30~17:00
 会場 あべのメディックス 6階ホール (map:2ページ参照)
 参加費 会員500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です)

共催 株式会社 堀場製作所
 連絡先 星ヶ丘厚生年金病院 稲田 孝
 TEL: 072-840-2641(内線293)

今年度後半2回目の一般検査部門定期研修会は、「一般検査に必要な情報」について学びたいと思います。
尿試験紙におけるアルブミン、クレアチニン測定の有用性をはじめ、尿沈渣検査法2010を解説するためのテクニックについて東京大学医学部附属病院の宿谷先生に解説を、また心腎連関における重要な鍵とは何か？について関西医科大学の高橋先生にご講演いただきます。
今後の一般検査に求められることや必要な知識や最新のトピックスなどについて皆様と学びたいと思います。初心者からベテランまで、多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

日時

平成25年11月30日(土) 14:30~17:30

会場

関西医科大学附属滝井病院 南館2階 臨床講堂

参加費

会員(賛助・申請中を含む)・非会員とも500円
(非会員は別途、資料代として500円が必要です)

共催

栄研化学株式会社

連絡先

大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 堀田 真希
E-mail masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

内容

1. 「アルブミン、クレアチニン試験紙測定の有用性」
講師：栄研化学株式会社 マーケティング推進室 鈴木 正隆
2. 「尿沈渣検査法2010の解説テクニック」
講師：東京大学医学部附属病院 検査部 副技師長 宿谷 賢一
3. 「心腎連関の鍵となる高血圧の成因としての腎神経の役割について」
講師：関西医科大学 臨床検査医学講座 教授 高橋 伯夫

Report

渉外部 献血活動 報告

渉外部 (多根記念眼科病院 医療技術部) 北川 篤

去る8月17日(土)、難波グリーンガーデン(難波駅北側すぐ)周辺にて市民の皆様へ献血へのご協力の呼びかけを行いました。

今年の夏も、気温35℃を超える中での活動になりましたが、献血車(グリーンガーデン)・献血ルーム(まいどなんば)あわせて、多くの市民の皆様へ献血していただくことができました。本当にありがとうございました。
次回は平成26年2月に実施いたします。公益法人化後、最初の献血推進活動、多数のご参加をよろしくお願い申し上げます。



当日データ 10:00~16:30 最高気温 37℃

【難波グリーンガーデン】

献血受付数	66名	採血数合計	50名
採血数内訳	400mL	採血数	50名

【まいどなんば献血ルーム】

献血受付数	93名	採血数合計	84名
採血数内訳	200mL	採血数	7名
	400mL	採血数	47名
		成分採血数	30名

計 受付 159名 採血 134名



ご参加ありがとうございました。
小西医療器株式会社

日本医療学院専門学校の学生さんに
ボランティア活動参加証明書 進呈いたしました。

献血呼びかけボランティアに参加して

私の初めての献血は、路上での血液不足の訴えに応えようとしたのがきっかけでした。

今回、呼びかける立場に立って思ったことは、質問された方との会話の中から献血に参加して下さった人もいて、私たち学生でも行動すれば社会に貢献できると改めて感じました。

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
3年 城 義格

今回初めて献血のボランティアに参加しました。私はポケットティッシュを配りながら献血への呼びかけをしている中で、興味を持って下さる方もいましたが、若い人達は関心がないように思えました。1人でも多くの人に献血に興味を持ってもら

えるよう、これからもできるだけボランティアに参加したいと思っています。

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
3年 林 かな

今回初めて献血推進活動に参加しました。私たちの呼びかけを聞いて献血バスに向かって行く方を見て、活動に参加してよかったと感じました。また、今回の活動を通して献血の必要性をとても感じ、献血の輪をさらに広めていきたいと思いました。

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
3年 松下 実春

臨地実習を終えて

4月初旬より始まった臨地実習。私は独立行政法人国立病院機構大阪医療センターにて約4ヵ月間、臨床検査技師としての役割や現場の業務について学ばせていただきました。そして現在は来年の2月19日に行われる国家試験に向けて日々、勉強に取り組んでいます。

臨地実習開始前は本校からの実習生は私一人だけということで、緊張や不安も多くありました。しかし初日の検査室には今年本校を卒業された先輩がいらっしゃり、勉強面だけでなく気持ちの面でも大いに助けていただきました。日が経つにつれて、徐々に検査室の業務や環境などにも慣れていきました。それでもわからないことや、患者さんへの対応で少しでも不安があれば、すぐに近くの臨床検査技師の先生に確認をとるなど慎重に慎重を期していたことを覚えています。

最も緊張したことは生理機能検査室で、実際に患者さんへ心電図の電極をつけることでした。当然個人によって体型が異なりますので、体型による電極位置の変化を知ることを優先して何度もアドバイスをしていただきながら経験を積んでいきまし

た。お陰様で実習後半には早く付けられるようになり、指導してくださった先生にも褒めていただきました。

臨地実習期間で痛感した事は自分の知識不足でした。質問されてもすぐに答えられないことも多くあり、反省点の一つであります。ただ、この臨地実習を経験したことで、知識を得ただけでなく、臨床検査技師についての考え方も変わり、以前より一回り大きく成長できたと感じます。

ご指導していただきました先生方は忙しい業務の合間をぬって、たくさんのお話を教えてくださいました。またその説明内容はとても丁寧でわかりやすく、国家試験にも対応していたのばかりで、非常に有意義な臨地実習を過ごすことができ、本当に感謝しています。

この臨地実習は私にとって大きな財産となりました。経験したことを踏まえ、臨床検査技師国家試験に向けてより一層の努力をします。そして諸先生方のような素晴らしい臨床検査技師になり社会に貢献していきたいと思っております。

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
3年 城 義格

於：平成25年9月28日（土）あべのメディックス

Report

他職種公開講座 第3回 中央支部地域オープンセミナー開催報告

中央支部長（大阪府済生会野江病院 臨床検査科） 森 啓悟

今回、テーマを「放射線領域の診断学の基礎」としたこともあり、普段では聞けない話でしたので、多数の参加者があり、当初、予定した160名を超え、資料も足りないほどの盛況でした。内容としては、放射線技師3演者に講演していただき、①一般撮影（マンモグラフィも含む）②CT③MRIの基礎から始まり、各領域の症例毎に画像診断の解析を非常に判りやすく説明いただきました。当日の参加者の方々は、各領域のスライド症例を食い入るように見ており、主催者側としても開催して良かったと思っております。

今回も、座長制で行いましたので、進行もスムーズに進み、今回のテーマである「放射線領域の診断」を元にして、内容をステップしていきたいと考えており、今後も継続して行きたいと考えています。

	参加人数
日臨技+大臨技会員	81名
大臨技会員	47名
日臨技会員	10名
兵庫	5名
奈良	2名
京都	1名
学生	1名
他職種(ME)	1名
放射線技師	4名
非会員	15名
賛助会員	1名
計	168名

大臨技理事会報告 Executive board report

平成25年度 第6回(9月12日開催)決定事項

1. 公益法人移行後の対応について

組織運営規程を見直すことにした。それに伴い、現審査委員会は廃止して永年勤続表彰、感謝状の検討は理事会で審議することになった。

2. 総会議案について

- 1) 特例民法法人の決算報告ならびに事業報告については理事会で承認された。
- 2) 公益法人としての事業計画、予算、新役員体制についても理事会で承認された。

3. 微生物検査等の検査において検査技師が患者さんからの検体採取することについて

9月20日公明党大阪府本部で開催される「政策要望懇談会」に連天会長が出席して大阪府臨床検査技師会からの要望として微生物検査等にかかる患者さんからの検体採取ができるように支援をお願いする。

大臨技事務局からのお知らせ

■ 大臨技会員証について

第3回目会員証は10月中旬に発行・発送いたしました。これ以降は会員証の発行は行いませんので、ご了承ください。
会員証の代わりとして、「**会員登録証明ハガキ**」を発行いたしますので、こちらを会員証としてご使用願います。
ハガキが届くまでは、お振込みされた時の受領証、もしくは日臨技ホームページより発行した領収証で代用願います。

■ 大臨技会員証の再発行について

紛失等により会員証の再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「**大臨技会員証再発行申請書**」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、当会事務所まで郵送又はFAXにてご提出ください。
それと共に、再発行費 500円をご納入ください。その2点を確認いたしましたら、お手続きいたします。
10月以降に関しては、「**会員登録証明ハガキ**」で対応させていただきます。

■ 臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許を取得されましたら、大臨技ホームページより「**臨床検査技師免許証番号 届出書**」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、当会事務所までご提出ください。
現在は仮登録の状態ですので、免許証番号をご連絡いただきましたら、正会員として正式登録いたします。
届出がない場合は、翌年3月末日で除籍扱いとなります。

■ 施設・技師会・住所等の変更について

施設の異動・転入・転出による技師会の変更、転居による住所変更など、登録データに変更が生じた際は、速やかに当会事務所までご連絡ください。
特に自宅会員については、転居の届出が無いと大臨技ニュース・会誌等をお届けできなくなりますのでご注意ください。
大臨技ホームページより「**会員異動届**」「**施設登録用紙**」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、当会事務所までご提出ください。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務所までご連絡ください。

Personal
Use

あなたの「いつも」を快適に。

シンプルな操作で血糖測定を実現 経済性にも配慮しました

自己検査用グルコース測定器

ツールピコ

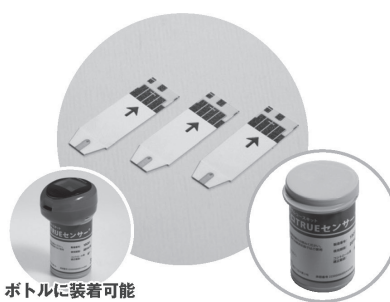
ニプロTRUEpico®



自己検査用グルコースキット

ツール

ニプロTRUEセンサー®



特長

- 必要血液量: 0.5µL、測定時間: 約4秒
- 測定範囲: 20~600mg/dL
- 小型・軽量 (17g)
- 初期設定不要 (時刻合わせや環境設定がありません)

■ニプロTRUEpico® 医療機器承認番号: 22500BZX00118000 高度管理医療機器(クラスⅢ)、特定保守管理医療機器
■ニプロTRUEセンサー® 医薬品承認番号: 22500AMX00894000

単回使用自動ランセット

ニプロLSランセット



■医療機器認証番号: 224AABZX00195000
管理医療機器(クラスⅡ)

○使用上の注意等につきましては、添付文書をご参照ください。



NIPRO

製造販売

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製品に関する
お問い合わせ先

0120-834-226

9:00~17:30(土・日・祝祭日を除く)

※電話番号をよくお確かめの上、お掛けいただきますようお願い致します。

2013年8月作成

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成25年12月号の原稿メ切は**11月2日(土)**、平成26年1月号は**11月30日(土)**です。